

# 目指せ！野々市No.1

## 新幹線高架下の有効利用について

『新幹線高架下を有効利用するには何が必要か!?』

### ● 現地調査

新幹線高架下が野々市駅の辺りにできるということでもまず周辺を調査することになった。しかし、調査すること数十分…辺りには何も無い。昼間、しかも住宅街だというのに人の気配が感じられない!「なんだここは!?!」



結果…①住宅地が多い  
②店など楽しそうな施設が無い  
町民の誰もが楽しく利用できるコミュニティ施設の創設!!

- ・幅広い年齢層に利用可能!
  - ・友人、趣味仲間が増える!
- ↓
- ・楽しく生活する手助けができる!!

#### 高架下の利用条件

- ・費用(工費、人件費、借用費、税金)
- ・土地の広さ(8m×12m×18m)
- ・法律(土地基本法、建築基準法など)
- ・環境への配慮(近隣住民に悪影響を及ぼさないもの)

お料理教室、手芸教室、地域の寄り合い場所など町がコミュニケーションの機会を提供する。

## → 公民館の設置

#### 利点

分かりやすい場所にある。  
野々市駅から徒歩で数分の場所にある。

#### 欠点

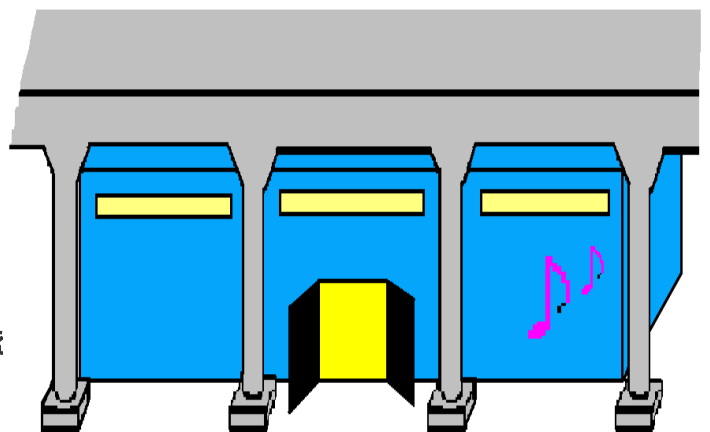
新幹線高架下にあり騒音がある。  
場所が狭い。



騒音や場所が狭いという欠点を踏まえたうえで…

- ・スポーツ
- ・児童館
- ・料理教室
- ・陶芸教室
- ・ライブ施設

…私たちはこれらのようなイベントを定期的に催し、幅広い年齢層の方が楽しめるような公民館を提案する。



金沢工業大学  
2007年度 工学設計II

プロジェクトテーマ : 新幹線高架下の有効利用について  
クラス番号 : VE305  
チーム番号 : 1  
チーム名 : 1  
チームメンバー名 : 梶田知宏、永木亮士、本田卓也、宮腰智広、山下美穂、渡辺寿  
担当教員名 : 木村定雄